

日本共産党は提案します

# 2つのゼロ・特養ホーム・認可保育園の待機をゼロ人に 4つの安心・住宅助成・高齢者みまもり・若者雇用・30人学級

## 北区の史上最高390億円のため込み活用で十分可能です

北区の財政の現状は史上最高の390億円、基金としてためこまれています。

日本共産党は、史上最高の積立金390億円を計画的に活用し、区民のくらしをささえ地域の活性化をすすめる2つのゼロと4つの安心の実現を提案します。

”2つのゼロ”は、特養ホーム待機者ゼロ、保育園待機児ゼロをめざします。

北区で特養ホームの入所待ちの方が800人をこえ、認可保育園の待機児が300名をこえるなど、一日も早い解決が必要です。公共用地の活用やUR都市機構、都営住宅建て替えの中に、特養ホームや認可保育園のさらなる増設をすすめます。  
UR住宅要請に臨むそねはじめ前都議



王子駅で宣伝するそねはじめ前都議



安心の第1は、住宅リフォーム助成、耐震改修助成の実現で、安心の住まいと仕事づくりです。

全国175自治体に広がり、住民からは住いの安心が、中小業者からも仕事確保が喜ばれ、予算の何倍も経済効果があると注目されています。景気対策としても一日も早い実現を。

第2の安心は、高齢者の見守り体制の充実で安心して長生きできる北区づくりです。

高齢化が最も進み、一人暮らしや高齢夫婦世帯も多い北区で、相談、支援の拠点「地域包括支援センター」を増やし、職員もふやします。地域の様々な活動団体とのネットワーク充実、集合住宅に生活援助員配置など24時間見守り支援体制を整備します。

第3の安心は、若者をはじめ就労支援・雇用の拡充です。

区内企業などに、正規での就労を支援する「就労体験事業」や、緊急雇用対策事業の拡充、シルバ―人材センターや障害者就労など、区としての就労支援・雇用対策の専門部署をたちあげ、予算を拡充してとり組みます。

「人間らしく働きたい」願いに応えられる北区をつくりましょう。

第4の安心は、少人数学級の実現で、安心して学べる学校づくりです。

東京以外で広がっている35人や30人学級では、「子どもの欠席日数が大幅に減った」「学習態度が落ち着いた」など成果が定着し、文科省も来年度からの実施を掲げています。北区の小中学校で、国や都に先行して年次計画で35人・30人学級実施をめざします。

これら緊急提案実現のためにも、区民本位の区政を一貫してめざして奮闘する日本共産党区議団9名の議席を何としてもかちとらせてください。

第40回赤旗まつりで挨拶する区議選予定候補。立っている右端がそねはじめ前都議 ↓

